# 広報 妻籍信宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成30年5月20日発行

No.126



(一石栃立場茶屋 撮影者:平野かほり)

立場茶屋で一休みする旅人や、 番所のお役人も、移りゆく季節を楽しんだことでしょう。 こんな句を見つけました。

「夜桜に青侍が音頭かな」 詠人 高井几董(たかいきとう)

※青侍(あおざむらい):若くて身分の低い侍

小笠原 美雪

## 妻籠宿保存50周年記念式典

2018. 2. 3(土)

#### 式典理事長挨拶

理事長 小林俊彦

現在89歳です。3,600万円で県が(集落保存を) やってくれるというから住民は当然 (集落を) 守らな くてはいけないということで愛する会をつくりまし た。それが現在の財団愛する会。当時はなにをやる かわからないから、江戸時代のように全部なおして しまうらしいよということで、大変な反対運動もあっ たが、過疎、限界集落直前で、いずれにしても県がや るなら間違いがないだろうということで、工事にか かった。幸いにして、沢山の学者:太田先生、小寺先生 始め、学問的に指導してくれて順調に、行政のお金と 学者の知識と住民の団結の3つが鼎のように支え あって50年。50年とひとことに申し上げますが、私 が35歳から(検討を)始めて39歳で確か腹を決めた つもりでございますが…普通、観光係のピーピーが 県庁へ行って県知事に会うなんてことはありえない けれど、明治100年事業だからということで特別に 知事室に通してくれて、環境保全や集落・町並み保全 の理屈など一生懸命話してやってきました。

この50年間考えてみると、いろいろなことがありました。結婚式の話ではないが、山があったり谷があったり…ところが、山があると県が切り崩してくれる、谷があると学者が埋めてくれる。そこのだいたい平ら?になったところで住民が団結してまとめてきました。幸いにして、当時大阪万博もあり、全国的にも発展、開発の頃で、妻籠はそれと逆走していたので、マスコミが喜んで日本中に発信してくれる力がありました。

いずれにしても当初の目的の過疎との戦い、限界 集落との戦いは成功したと思っております。しかし、 少子高齢化の世の中となり、子供もたくさん生まれ んことになり、妻籠の中にも若干の空き家があり減っ てきてはいますが、明治初年くらいのところで止まっ ている。大変心配しておりますが、しかしながら、妻 籠の住民が団結してこの問題を乗り切ってくれると 覚悟、期待しています。それからいままで、文化庁、 県庁、研究者、地方事務所、教育委員会等…皆さんの 支援があり現在があるわけです。今後も今まで以上 のご支援とご指導をたまわりまして妻籠が100年目 のお祝いもできるように念願しています。心精一杯 に皆さんに御礼申し上げます。

(式典での理事長挨拶より)

#### 祝妻籠宿保存50周年

久留米工業大学 教授 大森洋子

この度、縁あって妻籠宿保存50周年記念式典に参加させて頂くことができました。最初の町並み調査に関わられた上野邦一先生の講演やまちづくり活動について多くの方から話をお伺いし、町並み保存の先駆者としての妻籠宿の偉大さを改めて感じました。

建造物単体の保存制度はあっても集落景観を保全する思想も制度もなかった頃に、村の生き残りをかけて保存に取組まれたことに心から敬意を表します。集落保存の理念と手法を創造することは並大抵の苦労ではなかった事と思います。調査を逡巡する当時の太田博太郎東大教授に「あなたが今調査をやらなければ、全国の町並みはなくなってしまう」と訴えられた小林俊彦氏の強い意志に感銘を受けました。それに応えられた太田先生を中心とする学術調査の先生方、保存について夜毎議論を重ねた住民の方々、明治百周年事業として家屋修理に補助を出した行政、まさに住民・学者・行政が一体となって最初の町並み(集落)保存が開始されたことが、その後の各地の町並み保存の手本として多大な影響を与えました。

当時の妻籠での町並み保存の理念や手法は今でも色あせることなく輝いています。一つは最初から住民主体で保存を開始されたことです。妻籠を愛する会という住民団体をつくり、そこが主体となって町並み保存し観光を推進しています。二つ目は、小林氏のリーダーシップはもとより、それに賛同し協力する人材が多数いらしたこと。一人のリーダーだけではまちづくりは上手くいきません。常に学習の場を設けまちづくりの課題解決と共に後継者の育成がなされています。三つ目は外部との交流が積極的に行われ、常に最先端の情報を入手されています。

これら以外にも、国がインバウンド観光の資源として地方の景観を重要視する以前に、妻籠では最初から町並みを観光資源として活用し成果を上げていることもあります。そして、何よりも暖かいおもてなしの心があることが町並みをいっそう輝かせています。これからも様々な課題に対し地域の皆様が知恵を出し合い克服していかれる事を信じています。今回の訪問に心よりおもてなし頂き、誠に有り難うございました。

#### 広瀬地区 志水有沙

「第42回妻籠冬期大学講座」を受講させていただ きました。妻籠宿保存事業の初期から調査研究に関 わっていただいた奈良女子大学名誉教授の上野邦 一先生から「妻籠宿の保存で学んだこと、そして恩 返し」という演題でご講演していただきました。調査 では奥谷の天井裏に半日入り構造図を描いていたこ と、旧役場宿直室に寝泊まりをして長期滞在し、土日 は婦人会食堂の手伝いをしていたことなどの思い出 や、その時に学んだことをお話ししていただきまし た。

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて いる妻籠宿保存地区。この妻籠の保存事業は、本格 的に始まった昭和43年から、平成30年で50年と、と ても長い期間にわたり徐々に形成され、住民の保存 しようとする意志に支えられて今日に至ります。上野 邦一先生より「町並み保存活動の主体は住民、この 活動にお手伝いするのが恩返し」と、妻籠への想い を語っていただき、妻籠宿・住民憲章「売らない」「貸 さない | 「こわさない | の三原則を見直し、宿場保存 を堅持すること (特に外部資本の侵入を阻止するこ と)を条件に、「ターン、若者や中高年の移住を認める ことが今後は必要となってくるのでは…とも話され ていました。

この素晴らしい歴史(文化)について、私たち一人 ひとりが考え、守り、未来に長く語り継いでいかなけ ればならないと、先生のお話を聞いて改めて実感し ました。とても貴重なお話を聞かせていただけて、大 変勉強になりました。ありがとうございました。



〈理事長挨拶〉



〈冬期大学講座:上野邦一氏〉



〈文化庁情報提供:下間久美子氏〉



〈2団体・3名に感謝状が贈られました〉



〈最後は参加者全員で木曽踊り〉



〈経過報告:藤原義則常務理事〉



賽籠宿保存 50周年記念式典

〈愛友会と神楽組が盛り上げてくれました〉

# 木曽風景街道推進協議会中山道研修 2018年3月14日

#### 木曽広域連合地域振興課 山口彩佳

木曽風景街道推進協議会では、木曽路から繋がる中山道の街道や宿場を知り、それらの保存や整備について学ぼうと、中山道を訪ねて研修を行っています。

前回までの研修で岐阜県各務原市の鵜沼宿に到達しましたが、今回はその次の宿場であり美濃の中で最大規模の宿場であった岐阜市の加納宿で研修を行いました。加納宿は戦災によりかつての面影を残す古い建物はないものの、中山道であったことを示す道標が数多く設置されていました。古いものはなくても地域の資源として保存する強い意識を感じました。

また、今回は中山道から足を延ばし、岐阜城周辺でも研修を行いました。この地域は、文化庁が認定する、地域に点在する遺産をひとつの物語として活用する取組みである日本遺産の第1号です。その構成文化財である古い街並みが残る川原町、壮大な山城の岐阜城では、歴史の面影とすばらしい景色を堪能しました。

今回の研修では、岐阜市まちなか案内人の会のボランティアガイドの皆様に丁寧な案内をしていただき、有意義な研修ができました。また、研修を開催するにあたり、岐阜市教育委員会と同市観光コンベンション課の皆様に様々なご配慮をいただき、ガイドの存在や組織の連携が地域資源の保存活用に大きく貢献していると感じました。この研修に関わってくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

関ヶ原を目指して今後も中山道研修を計画したい と考えています。皆様のご参加をお待ちしておりま す。





〈岐阜市は看板が立派で、整備されていました〉



〈岐阜城より〉



〈ロープウェイから岐阜城までは遠かった!〉





# 妻籠宿雛祭りに寄せて

#### 妻籠観光協会女性部 山 﨑 しのぶ

今年も、ふれあい館に男性会員の皆さんのご協力のもと、館いっぱいもあろうかと思う程大きくて、みごとに立てられた雛段に私たち女性部で楽しくおひな様飾りが出来ました。今年も何人かの方々から思いのこもった立派な段飾りを頂きました。そうした六百体程のおひな様は圧倒的な迫力でしたし、飾りつけられた吊るしもの、帯、打ち掛けなどは、とても美しく素敵でした。中でも、桜の舞う中、酒を酌み交わし、カルタに興じ、囲碁を打つかと思えばブランコに乗ったり、お花見をする、そんな物語さながらに今にも動き出しそうに遊ぶおひな様たちは、本当に楽しそうで、見る人皆を和ませてくれました。この遊び心満載の雛飾りを、まだ寒かった二月末から月遅れの妻籠の雛祭りまで、どれほど多くの人たちが足を止め、思い思いに楽しんで見て頂けたことでしょう。

子どもたちは目を輝かせ、大人たちは昔を懐かしみ、外国の方には日本の伝統的な文化を知ってもらえる有意義なお祭りになったと思います。この頃では、諸事情から、おひな様を飾る家も減って来ていると聞きます。そんな中でも、「妻籠へ行けば沢山のおひな様が見られて楽しいよ」と言われる様な雛祭りをこれからも続けて行けたらと思います。今年度からは、女性部から観光協会の事業となる「五月人形飾り」、来年の「雛祭り」と、皆で妻籠を盛り上げて行ける、そんな活動に携わって行きたいと思いながら、楽しませてもらったおひな様を無事皆で片づけ終えることが出来ました。









### 【五月人形を飾りました!】

4月20日に観光協会の皆さんが集まってふれあい館に五月人形を飾りました。月遅れの端午の節句まで飾ってありますのでお楽しみください。





# 平成30年度 (公財) 妻籠を愛する会事業計画

# 1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習 会の実施
- (6) 防災施設の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施(文化財防火デーほか)
- (8) 全国町並みゼミ (松代大会) 等研修会への各役 職員の参加・参画

#### 2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持 管理・環境保全事業

- (1) 「立場茶屋」(一石栃牧野家) 建物の維持管理・ 活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道沿線の景観整備・松枯れ対応
- (4) 「尾又屋」「まつや」「旧田原家」「木犀庵」の維持管理・活用
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託及び改修の推進

#### 3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持 管理に関する事業

- (1)「ふれあい館」の管理運営
- (2) 「四阿」(妻籠城址・白木改番所)の維持管理
- (3) 休息施設 (ベンチ等) の維持補充
- (4) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (5) 道標・説明板の見直しと更新
- (6) 民俗資料の収集・公開・活用

#### 4、文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- (1) 広報 [妻籠宿] 及び事務局便りの発行配布
- (2) 第51回 「文化文政風俗絵巻之行列」 の実施
- (3) 第43回 「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室 の実施
- (6) 妻籠及び木曽に相応した文化の伝承と開発・ 研究

# 5、文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- (1) 保有山林地の維持管理(スナジ・西山・尾又)
- (2) 休耕地の景観整備
- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ等の花木の保護・ 植栽・育成と景観整備

- (4) 妻籠城址の環境整備
- (5) 外来動植物の駆除
- 6、重要伝統的建造物群保存地区内において公開に 必要とする事業の受託および支援事業
- (1) 町営駐車場管理事業
- (2) 旧妻籠小学校の管理
- (3) 妻籠観光協会事務事業

#### 7、関係機関、連携団体との集落保存、自然景観の保 護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曽風景街道推進協議会・木曽ユネスコ協会と の協働活動
- (2) 木曽街道連絡会の事業の推進
- (3) 関係団体との交流(国内外)
- (4) 国土交通省エクスカーション活動参加

#### 8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を 達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備
- (2) 取得資産の有効活用

#### 【妻籠宿保存50周年記念事業報告】

平成28年

12月14日: 妻籠宿保存50周年記念事業委員会発

足企画委員の選出

12月27日:企画委員会開催

小委員会の設定

平成29年

1月24日:企画委員会開催

小委員会の構成決定

(式典·会場、冬期大学、記念誌)

2月22日:事業委員会開催

小委員会の正副委員長選出

3月30日:記念誌委員会開催

5月 9日:記念誌委員会開催

6月22日:記念誌委員会開催

9月21日:記念誌委員会開催

12月25日:企画委員会

式典内容·冬期大学講座内容

記念誌校正刷り確認

平成30年

1月25日:事業委員会開催

記念式典·妻籠冬期大学講座

祝賀会内容確認

1月30日:事業委員会(各小委員会正副会議)

式典当日の内容・分担について最終確認

1月29日:記念誌、30日瓦版集納品

2月 3日: 妻籠宿保存50周年記念式典開催

#### 場 宿 暦

2月 3日: 妻籠宿保存50周年記念式典(南木曽会館) 4日:(株)ブレイン撮影 7日: 観協全体会議 8日: 観協宿泊部会 9日: 氷雪の灯まつり準備 (氷つくり・木曽町2名)、観協土産部会 10日: 氷雪の灯まつり(木曽町へ6名) 13日: 観協食堂部会 15日: 木曽観光地づくり戦略PJ会議 (~16日、上松·常務) 17日:全国町家再生交流会(~18日、倉敷·常務) 20日:統制委員会、広報「妻籠宿」125号発行 22日:50周年実行委員反省会 25日: 平成29年度第4回観光地点パラメータ調査 26日: 観協女性部おひな様飾りつけ、 広域テレビ撮影 27日: 観協役員会 28日:日本ナショナルトラスト常任理事会 (東京·常務) 3月 2日:日本ナショナルトラスト理事会 (東京・常務)、案内人の会世話人会・学習会

5日: 元気づくりヒアリング(合庁・常務)

6日: 観協役員会

9日:木曽観光地づくり戦略PJ会議、電通撮影

14日:木曽風景街道推進協議会中山道研修 (5名参加)

15日: 妻籠観光協会総会

16日: 西村幸夫退官記念シンポジウム(東京・常務)

17日: 広域テレビ撮影

19日:妻籠宿保存地区保存審議会(理事長·常務)、 南木曽町リニア中央新幹線対策協議会

20日:統制委員会 22日: 広報部会 27日: 理事会

29日:評議員会、南木曽町博物館協議会(理事長)

4月 1日:駐車場臨時職員辞令交付

3日: 倉科様祭礼(常務)

5日: 観協役員会

12日: 木曽観光地づくり戦略PJ会議(木曽町·常務)

14日: NHK撮影 15日:子安観音祭礼 16日: NHK撮影 (~17日)

20日: 統制委員会

23日:木曽風景街道推進協議会役員会 (木曽町·常務)

24日:会計監査、広報部会 27日: 妻籠宿案内人の会総会

## 統制委員会審議事項

2月20日

・配電線設備の保安伐採(中電:吾妻橋~大妻籠)2件 ·変圧器及び接地極新設 (中電:大妻籠~上在郷) 1件 ·案内板の撤去(町:第2駐車場) 1件 ·町道神明線支障木伐採工事(町:大妻籠) 1件 ·木橋の補修(町教委:恋野) 1件 3月20日 ·群状択伐(関電:妻籠地区) 12件 ·NTT電柱建替え工事(恋野) 1件 ·平成29年度復旧治山事業補正 (地域振興局:細野山) 1件 ・公共マス設置工事(町:恋野) 1件 1件 ·屋根修繕(寺下) ・土地の形質変更(尾又) 1件 ・その他:駐車場白線引き・尾又三叉路看板変更 4月20日 1件 ·筍伐採 (関電:妻籠地区) ·防護管取付(中電:橋場) 1件 ·配電線路の改修 (中電:上在郷·大妻籠) 2件 ・電力供給設備の撤去(中電:吾妻橋) 1件 1件 ・板戸・ガラス戸取替(上町:光徳寺) ・松の枝伐採(町:町営第2駐車場) 1件 ・建物除却(下り谷) 1件 ·住宅新築(保留)·進入道路整備(渡島) 1件





〈氷雪の灯まつり:ふれあい館前〉

発行:公益財団法人妻籠を愛する会 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

# 妻籠分館文化祭

# 平成30年3月3日(土)

広報部 木 村 和 恵

公民館妻籠分館主催の文化祭が、3月3日(土)に開催されました。保育園児の皆さんと小学生児童の皆さんによる元気な歌とダンスには日頃のストレスや疲れを癒されました。愛友会の皆さんは、会場の観客にクイズを出題し、答えてもらうというものでした。初めての試みということで、問題や出題方法に苦労されたそうです。下町の皆さんは、寸劇「大きなかぶ」を披露してくれました。聞いたところによると、一度も集まって練習しなかったとの事でしたが、息が合っていて面白かったです。是非来年も出演してほしいです。

他にも津軽三味線の演奏や詩吟などがあり、最後にお楽しみ抽選会が行なわれ、文化祭は無事に終了しました。役員の皆さんお疲れ様でした。







# 平成30度 妻籠分館行事日程表

年	月日	曜日	行 事 内	容	場所
30年	4月15日	日	役員総会、29年度反省慰労会		妻籠分館会議室他
	7月	日	分館清掃(祭り準備日に合わせて)		妻籠分館内外
	7月23日	月	和智埜大祭子ども神輿・夜警	育成部(夜警は南木曽小校外指導部と協力)	妻籠地区内
	7月24日	火	和智埜大祭夜警		
	夏休み中	日	育成部行事:納涼祭(流しそうめん、花火等)		旧妻籠小学校体育館
	9月第二	日	敬老会お手伝い		南木曽会館
	9月30日	日	旧妻籠小学校校庭整備		旧妻籠小学校校庭
	10月 6日	土	区民運動会準備		旧妻籠小学校校庭
	10月 7日	日	区民運動会(雨天:体育館)		旧妻籠小学校校庭
	11月11日	日	木曽郡公民館大会		木曽町三岳
	12月16日	日	しめ縄講習会		妻籠分館ホール
31年	2月 3日	日	南木曽町公民館大会		南木曽会館
	2月24日	日	分館交流スポーツ大会		社会体育館
	3月 1日	金	文化祭の準備		妻籠分館ホール
	3月 2日	土	文化祭		妻籠分館ホール
	3月24日	日	30年度役員反省会		妻籠分館日本間

\* そば打ち講習会

月2回

☆軽音楽研究会

通年

\* ソフトバレーボール

週2回

☆環境整備

適時

\* 二胡教室

月2回

※各団体への参加希望につきましては、分館主事までお気軽にお問い合わせください。 【分館長:鈴木竜行、主事:三浦順明】